

第5次名護市総合計画策定プロジェクト

よって たかって ゆんたく

第1回地域別ワークショップ開催しました！



参加者
45名

名護ゆんたく

11/13(火)18:30-21:00

市民会館中ホール



参加者
33名

屋我地ゆんたく

11/14(水)18:30-21:00

屋我地支所ホール



参加者
22名

羽地ゆんたく

11/14(水)18:30-21:00

羽地支所ホール



参加者
18名

屋部ゆんたく

11/26(月)18:30-21:00

屋部支所ホール



参加者
12名

久志ゆんたく①

11/26(月)18:30-21:00

豊原公民館ホール



参加者
19名

久志ゆんたく②

11/27(火)18:30-21:00

久志支所ホール

名護市をこれからどんなまちにしていきたいか、よってたかって楽しく語り合う「よってたかってゆんたく」を11月に市内の各地域で開催しました。約150名の方に参加いただき地域のビジョンを語り合いました。

ワークショッププログラム

名護市内の各地区で、11月に第1回よってたかってゆんたくを開催しました。「よってたかってゆんたく」は、市民のみなさんが地域や名護市の未来を考え、話し合っていくための場です。第1回よってたかってゆんたくでは、10年後の一人ひとりの暮らしをイメージした上で、どんな地域で暮らしていきたいか、どんな地域でありたいか、名護市の各地区の10年後の地区のあり方・ビジョンについてみんなで理想を語り合っていました。

- 1 開会
- 2 第5次名護市総合計画策定プロジェクトについて
- 3 ワーク1：「10年後の暮らしを妄想しよう」
- 4 名護市の課題
- 5 ワーク2：「10年後の地区のあり方・ビジョンを話し合おう」
- 6 発表
- 7 閉会



屋我地ゆんたく

11/14 (水) 18:30-21:00

屋我地支所ホール



屋部ゆんたく

11/26 (月) 18:30-21:00

屋部支所ホール



名護ゆんたく

11/13 (火) 18:30-21:00

市民会館中ホール

羽地ゆんたく

11/14 (水) 18:30-21:00

羽地支所ホール



久志ゆんたく①

11/26 (月) 18:30-21:00

豊原公民館ホール



久志ゆんたく②

11/27 (火) 18:30-21:00

久志支所ホール



第5次名護市総合計画プロジェクトについて

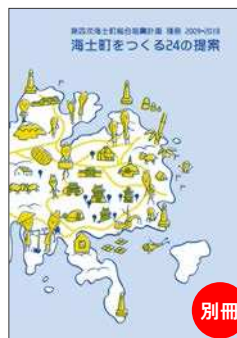
第5次名護市総合計画策定プロジェクトのスタートにあたって、市民参画による計画づくりの意義や、studio-L が他の地域でお手伝いさせていただいた総合計画の事例の紹介を行いました。

市民参画による計画づくりの意義

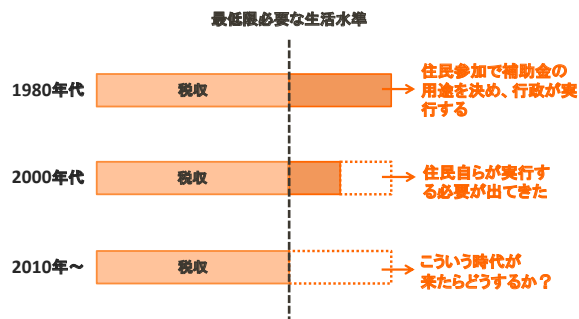
これからは、各自治体で人口が減少し、高齢化が進み、税収も少なくなっていくと思います。そして、役所だけでこの国の公共的な活動を担うことが難しい時代になってきます。市民の人たちが公共的な活動をどれだけ担えるのかということがキーになってくる時代です。

今いちど、市民のみなさんも含めて自分たちで何ができるのかということを考えていくということが、今回の計画では大切になってきます。

第四次海士町総合振興計画は2冊セットです。



税収と行政サービス



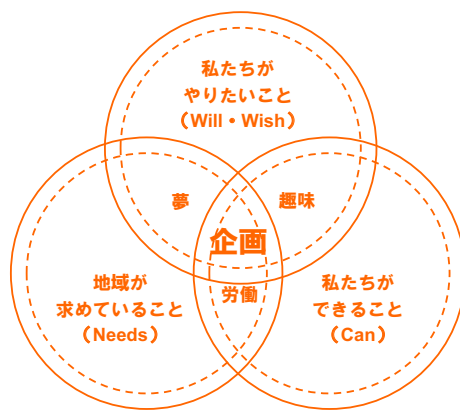
海士町第4次総合計画の事例紹介

海士町では、東京の幸せ・幸福と、海士町の幸福は違うよね。では海士町は何をベースにしてどう生きていくのかということをもみんなで確認し、自分たちなりの幸せをとらえて取り組みを進めていきました。

海士町の場合は計画書は2冊作りました。本編と、中学生でもわかるような絵本です。特に絵本の方は、町民の人たちが「やるぞ!」と言ってワークショップで決めた「24の活動」をまとめました。

今回の総合計画作りの大事なポイント

今回の計画は、行政だけでつくってしまうのではなく、市民のみなさんと一緒に行政職員が協働してつくっていくものになります。自分たちで何ができるのかということを考えて、みなさん自身がやりたいこと、できること、それから地域の人や社会に求められていることを、みんなで話し合って方向付けしていきながら、予算化・事業化までしっかり考えていく、これが今回の名護市の総合計画作りの大事なポイントです。



ワーク1「10年後の暮らしを妄想しよう」

各地区とも、ワーク1では一人ひとりが10年後どんな暮らしをしていそうかを妄想しグループで発表しました。10年後を妄想し、その時地区がどうなっていたら良いか、続けてワーク2で考えていきました。



ワーク2「10年後の地区のあり方・ビジョンを話し合おう」

ワーク2では、区長さんをはじめとした市民の方にヒアリングした内容を元にテーマのカードを作成し、そのテーマを元に各地区の10年後の地区のあり方を話し合いました。グループでの話し合いでは、有志の市役所職員で構成された策定チームのメンバーが進行役を務め行いました。



名護ゆんたく

日時：11月13日（火）18:30-21:00 会場：名護市民会館中ホール



テーマ	ワークショップの意見
理想の交通環境	自転車ロード / 免許を返した後の交通手段 / 周遊バス / 北部の交通拠点
景観・自然環境について	自然海岸の大切さを学び安全に活用 / サンセットを楽しめる場所
空き家の使い方	現状を調査 / 子どもやお年寄りが集まる場所 / 学生に空き家で企画を
健康づくり・母子保健	医と学の連携強化 / 自転車の通勤手当 / 区単位で体力作り
障がい児者等について	インクルーシブ教育 / 発達障がい理解と寄り添い / 大学を活かす
理想の医療	健康づくりのためのスペースとバス / 予防医療 / 各病院の情報の見える化
わたしたちと区の活動・行事	公民館体制充実 / 災害時に協力 / 移住者が地元の人と関わる場 / 豊年祭の活性化 / 幅広い年齢層の人が参加できる行事
これからの人が育つ・人を育てる環境	学校と地域住民の活動共有 / 留学生との交流 / コミュニティスクールを活用 / 多言語を話せる人材を育てる / 名護市を引っ張るリーダーを応援 / 文化と教育をつなげる / 事業を起こす人の育成
アスリートの育成	空き家を活用した合宿 / ラグビー留学 / 子ども向けのワークショップ
健康づくり	名桜大学との共同研究 / 健康ポイント / 高齢者と学生が同居 / 市民参加型の運動会 / 区対抗ダイエット / 若いころからの健康教育
交流・世界のウチナンチュ	海外の大学との共同研究 / 留学生のホームビジットプログラム / 大学生と交流できるイベント / 古民家を学生がリノベーション
雇用の創出	商店街が賑わう / 外遊びのプロ / 地元の人が地元を知る / 主婦が働きやすく輝ける仕事 / 働かされるから働くへ / 個も組織も自立心を持つ
海岸の活かし方	21世紀ビーチの施設整備 / 海岸の環境保全 / 貴重な自然を活かすツアー
観光のあり方	観光客がまた行きたいと思うまち / 自然を活かした観光 / ゾーニング / ルールが必要 / 観光に何を求めるのか議論が必要 / 住民も気持ちよく受け入れられる仕組み / 外の地域から来た人をウェルカム
老後の楽しみ	高齢者と名護市を歩く / ミニシアター / ゆんたくできる場所 /
働き世代の楽しみ	フレックスタイムで放課後子どもと交流 / 交流スポーツ大会 /
名護市のイベント	車が停められない / インスタ映えが少ない / 情報が少ない / 音楽活動をしている人が活動できる場所 / 自然に親しむ / 雨の日でも楽しめる場所 /
わたしたちの食	伝統料理の継承 / 市場で買い物してほしい / 市民参加型の食のイベント / 食材ロスへの取り組み / 地産地消 / 手料理がバイト終わりに食べたい /
名護のあり方	笑いが絶えない / 自慢できる / 夢を語れる / 多様性を認め合う / 選ばれるまち

羽地ゆんたく

日時：11月14日（水）18:30-21:00 会場：羽地支所ホール



テーマ	ワークショップの意見
地域の防災	人と人とのつながり・ゆいまー / 避難所の把握 / 防災組織 / 一人ぐらしの把握
農業・水田のこれから	豊かな水資源を活かす / 農業したい人と貸したい人のマッチング / 羽地ブランド / 遊休地水田のオーナー制度 / 田んぼアート / わらで綱曳きのつなづくり
観光のあり方	平和学習 / 住んでいる人が喜ぶ観光 / マナーを守った観光 / 開発しないのが魅力
仕事づくり	今いる事業者を応援 / 特産品づくり / 特産品の拡大 / 大きな会社ができると良い
体制づくり	自慢したくなる羽地 / 世代間交流 / 若者が戻ってくる / 伝統文化が残っている
子育て世代と地域のかかわり	地域での子育て支援 / 子育て世代の区への参加 / 参加しやすい雰囲気づくり / 家族で行きやすい公民館 / 子どもたちと他区の豊年祭を見に行く /
スポーツと地区	老人子どもが遊べる公園 / 生涯スポーツ
仕事・生活安定	IT 基盤の向上 / 言語の勉強 / 若い人が活躍できる地域 / 働きやすい職場
空き家の使い方	空き家の改修（助成） / 民泊・企業への貸し出し・カフェなどの活用 /
移住者・出身者との関わり	地域の習慣・ルールを守る / 受け入れる環境 / 出身者との交流

屋我地ゆんたく

日時：11月14日（水）18:30-21:00 会場：屋我地支所ホール



テーマ	ワークショップの意見
空き家の使い方	民泊やカフェ等の再利用 / 幼児・児童・生徒の遊び場としての活用 /
若者と地区とのかかわり	若者が参加できる行事 / 子どもたちが帰ってきやすい環境づくり / 高校生が地域で集まれる場 / 後継者育成
地域の行事のこれから	エイサーと観光のコラボ / 伝統芸能の後継者の育成 / 行事の簡素化 / 記録する
安心安全な生活環境づくり	街灯をつける / 交通渋滞を減らす対策 / ネット環境整備
区の活動へのかかわり	移動手段の充実 / 島民全体で考える防災教育 /
産業のこれから	塩田の活用 / きれいな風景をたくさん撮影 /
農業のこれから	農業体験 / ネットを使った PR 販売 /
海を守る	教育現場から / 環境保護への住民参加 / 羽地内海の遊覧船ツアー /
屋我地ひるぎ学園との連携	ひるぎ学園生向けの定住作戦、人口増加 / 島の子を増やす
屋我地祭りのこれから	お金をかけない企画 / 豊年祭を一緒にする /

屋部ゆんたく

日時：11月26日（月）18:30-21:00 会場：屋部支所ホール



テーマ	ワークショップの意見
まとめ	地元の魅力を地元の人を知ることが大事 / 誰がやるか具体的に / もっとゆんたくする /
これからの人が育つ・人を育てる環境	女性が活動しやすい働きやすい環境 / 公民館で寺子屋 / 子どもの時から地域活動を / 農業の楽しみを教える / 世代間交流
区の活動・行事	情報の一元化 / 3世代交流で見守り / 区長の任期を4年 / 若い人が活躍
地域のイベント	小学校での地域イベント / 人と交流促進 / 屋部寺の活用（フリマ等）
雇用の創出	地域の人々が儲かる仕組み / まちまーいの案内人 / 屋部大根のブランド化 /
観光のあり方	海岸にトイレ・シャワーの設置 / 豊年祭（踊り体験・道ジュネー） / 空き家を活用した民泊 / 山歩き /
山・川・海岸の活かし方	フクギ並木散歩 / 勝山の巨木 /
働き世代・老後の楽しみ方	続きはYabuで！ / We Love 屋部 / 地域で遊ぶ・楽しむ・学ぶ /

久志①ゆんたく

日時：11月16日（月）18:30-21:00 会場：豊原公民館ホール



テーマ	ワークショップの意見
子育て環境のこれから	勝手に集まってくる場所 / 地域の人々が先生になる / AI活用 / 放課後の居場所 / 公民館の開放 / クラブ活動が見れる制度 / 空き家を活用
地区の防災のあり方	防災保管庫 / 防災組織 / AED講習会 / 救急医療 / 久志地区防災の日の設定
高専・みらい・マルチメディア館・GODAC等との連携	高専生による学習支援 / 各企業の職場案内 / 区の行事への参加 / もっと知る機会をつくってほしい
わんさか大浦パークのこれから	定期的なイベント・フリマ / 体験学習窓口 /
農業のこれから	生産者と販売者が協議 / 久辺地域の農産物販売所 / 新しい作物や料理 /
地域行事のこれから	住人募集 / 企業と区民の交流 / 懇親会を開く /
安心安全な生活環境づくり	区民同士のつながり / IOTの活用 / 地域の子どもは地域で守り育てる
移動支援のあり方	病院と買物支援 / 移動販売車 /
東海岸の連携	旧久志村の共通の課題を解決するため区長を中心に話し合っていく

久志②ゆんたく

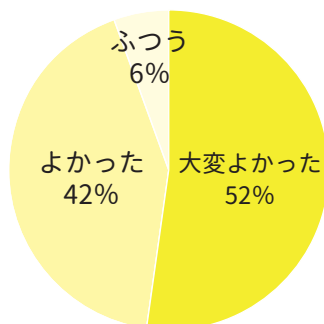
日時：11月27日（火）18:30-21:00 会場：久志支所ホール



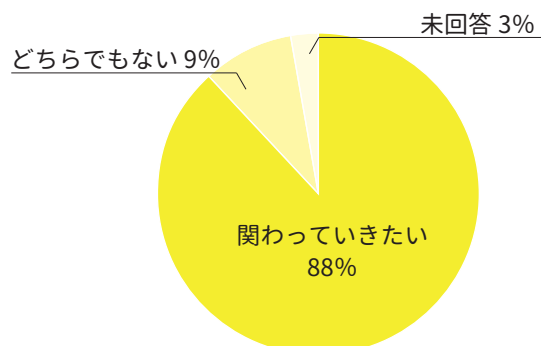
テーマ	ワークショップの意見
空き家の使い方	課題を表面化 / 空き家を地域で管理 / 地域で起業支援 / 不動産のサポート
わんさか大浦パークのこれから	みんなのコミュニティセンター / 地域の人で賑わう場所 / 区での学習支援 / つながる拠点 / 観光客のワンストップ窓口 / 子どもの遊び場
子育て環境のこれから	学習支援の充実 / 自然を活かした子育て / 保護者の思いを聞く
移住者とのかかわり	移住者の窓口を区が担う / コミュニティへの参画 / 伝統芸能の継承
若者と地区との関わり	若年夫婦への金銭的支援 / 若い人の声を拾う / 若者に企画させる / 学生
地域の行事のこれから	今ある物をきちんと継承 / 各区の連携 / コミュニティスクールとの連携
豊かな自然を活かす	ルール整備 / 守りながら活かす / 交流が生まれる活かし方 / 学びの場
農業のこれから	給食で地域産の食材 / ブランド / 体験型農業 / 後継者が入りやすい環境
移動支援のあり方	コミュニティバス / 区で移動手段 / 買物支援 / 公民館でネットスーパー
地区の防災のあり方	ハザードマップ / 安全な避難所 / 避難路の整備 / 備蓄庫 / 防災組織

ふりかえりアンケート

Q よってたかってゆんたくの感想を教えてください



Q 今後の地区のビジョン作りに関わっていきたいですか



Q よってたかってゆんたくで印象に残っていること

- ・みんな地域愛でいっぱい
- ・皆の意見が熱く、オープンに話すことができた
- ・異世代でざっくばらんに楽しく意見交換できた
- ・みんな意見は様々でとても興味深かった
- ・多くの意見が出て良かった
- ・とても楽しい時間だった

Q 取り組みたいことや関心のあるテーマ

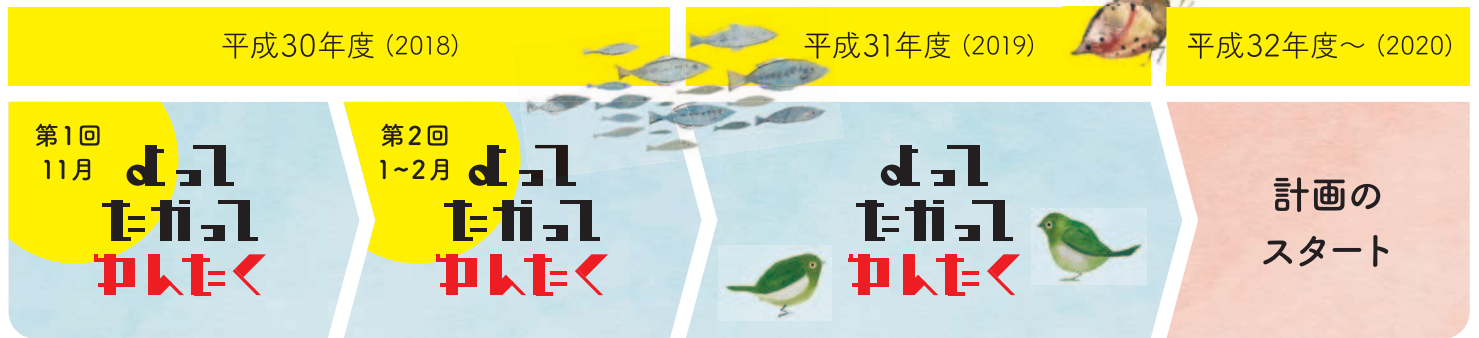
- ・人が集うまちづくり
- ・観光と地域の関係
- ・自然を守りながら活かすこと
- ・子育て環境の充実
- ・農村エリアの仕事づくり
- ・行きやすい公民館
- ・伝統文化の継承
- ・名桜大学との関係を強化する

Q 期待することや気になること

- ・多くの意見が形になってくことが楽しみ
- ・わくわくすることを続けて話し合ったことを実現したい
- ・いろいろな人が参加して欲しい
- ・話せる場をもっとつくることが大切
- ・市民が誇れる総合計画にしたい
- ・わかりやすい総合計画に期待

第2回よってたかってゆんたくのお知らせ

今後 10 年間のまちの指針となる総合計画の策定プロジェクトがスタートしました。「よってたかってゆんたく」は、市民のみなさんが地域や名護市の未来を考え、話し合っていくための場です。名護市で暮らすたくさんの方に参加いただき、計画づくりを進めていくことを目指しています。



どんなふうに地域で暮らしていきたいかをイメージしたり話し合うことから地域の 10 年後やその先の将来像を考えてきます。

第 1 回で話し合った地域の将来像について、さらに多くの人のイメージを加えたり、意見交換してブラッシュアップします。

みんなで描いた地域の将来像を実現するための取り組みを考えていきます。そして、さらに多くの市民に計画を知ってもらい、取り組みを広げていくためのしきみを考えていきます。

地域の将来像を実現するために行政と市民が一緒に取り組んでいきます。

よ っ た か っ て ゆ ん た く

カフェイベント & 第 2 回地区別ワークショップ

第 2 回よってたかってゆんたくでは、第 1 回で考えた各地区のビジョンを多くのみなさんに見ていただいて、さらにみなさんの想いを集めていきたいと考えています。日中は 1 日の中で好きな時間にふらっとおこしいただけるカフェのような場でみなさんの想いを集め、夕方からはワークショップ形式で各地区のビジョンについて、みなさんと話し合っていきます。

各地区ビジョン展示 1/26(土) 11:00-17:00 1/27(日) 11:00-17:00 会場：桜まつり会場	久志ゆんたく 2/2(土) 11:00-16:00 カフェイベント 会場：わんさか大浦パーク 2/2(土) 17:30-20:00 ワークショップ 会場：久志支所	屋部ゆんたく 2/3(日) 11:00-16:00 カフェイベント 2/3(日) 17:30-20:00 ワークショップ 会場：宇茂佐公民館
羽地ゆんたく 2/3(日) 11:00-16:00 カフェイベント 会場：A コープ モーレ 2/3(日) 17:30-20:00 ワークショップ 会場：羽地支所	屋我地ゆんたく 2/9(土) 11:00-16:00 カフェイベント 会場：屋我地支所 2/9(土) 17:30-20:00 ワークショップ 会場：済井出公民館	名護ゆんたく 2/11(月・祝) 11:00-16:00 カフェイベント 会場：ファーマーズマーケットやんばる 2/11(月・祝) 17:30-20:00 ワークショップ 会場：名護市労働福祉センター

studio-L

studio-L (スタジオエル) は、代表の山崎亮が2005年に設立。地域の課題を地域に住むひとたちが解決するコミュニティデザインに携わる。これまでに、海士町総合復興計画、瀬戸内しまのわなど、まちづくりのワークショップや住民参画の総合計画づくりなどに携わっている。<http://www.studio-l.org>

問い合わせ

名護市地域政策部企画情報課企画調整係 担当：比嘉
e-mail: kikakujouhou@city.nago.lg.jp

今後の予定や最新情報は「よってたかってゆんたくFacebookページ」にて発信しています。Facebookで「よってたかってゆんたく」で検索！
URL: <https://goo.gl/8bnWRd>